

<b>8 ドームテント設営</b>		～テント設営・撤収やテント泊でアウトドアを満喫～	
<b>主なねらい</b> ◎友とのきずなを強める	<b>適 期</b>	5～10月	
	<b>所要時間</b>	設営・撤収それぞれ30分～1時間	
	<b>対 象</b>	小学校低学年～	
<b>準備物</b>	<b>学校・団体</b>	<b>自然の家</b>	
	懐中電灯、その他	ドーム型テント（4人用 30張）本体等 ※下表参照	

物 品	保管場所	注 意 点
テント本体 フライシート フレーム(ポール)	不動棟1階	・夏用テントには2種類があります。それぞれ立て方が異なります(次ページ参照)。 ・一つの袋にまとめてあります。戻す時も同じように入れて返してください。
シュラフ シュラフシート	不動棟2階(戸棚) 管理棟1階ホールのロッカー	・人数分必要です。 ・食数票に必要枚数を記入してください。
ロールマット	不動棟1階	・一人1枚。寝る時にシュラフの下に敷きます。
ランタン	不動棟1階	・電池(単1を4本)は団体で用意してください。
コンパネ	不動棟1階 第1炊飯棟付近	・1つのテントに3枚必要です。

## 1 場所の決定

不動平キャンプ場(こもれびの森、あさぎりの森、みはらしの森)、不動ゲレンデ下部の芝生、来拝キャンプ場で実施してください。場所については職員と事前に相談してください。

## 2 テントの設営・撤収

### (1) 設営

- ・場所が決まったらテントを設営します。なるべく平らなところを選んでください。石や枝などを退かしてからコンパネを置いてください。
- ・入口から風が吹き込まない方向を考えましょう。また、荷物を入れて重しにします。

**※不動平キャンプ場は、雨の中でテントをはるとよごれてしまいます。撤収の時間を十分にとってください。(撤収の時間を確保できない団体には、テントの貸出はいたしません。)**

### (2) 撤収

- ・借りた用具は元の場所へ返してください。また、返却の点検は団体の指導者で行ってください。
- ・テントの中のゴミを出してください。
- ・**テントを乾かす時間を十分にとってください。**雨で泥がついた場合、洗ったり雑巾でふいたりしてきれいにした後、天気の良いときはらいちょう広場前で、天候がよくないときには不動棟(室内)で乾かしてください。**その後、乾いたらたたんで元の場所に返してください。**
- ・**テントを撤収する際には、職員が立ち会います。**

### 3 テント（エバニュー）設営の実際 ☆印はダンロップテントの場合



写真 1

- ①コンパネ 3 枚を選んだ場所に並べます。
- ②それぞれを袋から取り出し、物品を確認します。
- ③コンパネ 3 枚の上に、写真 1 のようにテント本体とつないだフレームを置きます。  
☆フレームは下図のようにします。

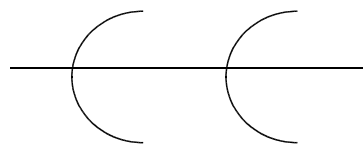


写真 2

- ④それぞれのフレームの端を本体の金具に差し込みます。フレームは山のように大きくしなります。  
☆フレームの端は本体下部のポケットに差し込みます。  
※フレームの端が顔に当たると危険です。  
注意しましょう。
- ⑤山のようにしなったフレームに本体に付いているフックをかけ、本体を立ち上げます。
- ⑥本体の背にあたる 5 本目のフレームをつけます。  
※写真 2



写真 3

- ⑦フレームの上からフライシートをかぶせ、フライシートのポケットにフレームを差し込みます。
- ⑧フライシートの四隅のゴムを本体の四隅の金具に止めます。  
※写真 3
- ⑨袋はまとめてテントの中に入れておきます。

### 4 留意点

- ・自然の家は標高 6 7 0 m あり、夏でも朝夕は涼しいです。衣服の調節を工夫してください。
- ・フレームの袋やシュラフの袋がよく紛失します。フレームの袋はテントの袋の中に入れてテント内へ、シュラフの袋はシュラフの中に入れておきましょう。懐中電灯なども入れておくと便利です。
- ・荒天時の避難場所は、不動棟になります。不動棟は、同じ日にテント泊をしている全ての団体が、共同で使う場所になります。尚、不動棟は、宿泊場所としては利用できません。